

防災・減災×サステナブル大賞2026 優秀賞 受賞 ～「大雨から誰一人取り残さない」地域社会の実現に向けた取り組み～

令和8年1月31日（土）、地域づくり技術研究所が進めている標記の取り組みが、「防災・減災×サステナブル大賞2026（主催：一般社団法人減災サステナブル技術協会）」で優秀賞を受賞しました。

近年、全国各地で甚大な水害が発生する中、依然として避難率の低下が問題視されています。中部地方では東海豪雨以来、大規模な災害に見舞われておらず、災害が発生した場合、災害未経験や災害経験の風化により深刻な事態が想定されます。この課題に対し、防災意識の向上や早期避難に向けた避難行動の改善、若者の「守られる人から守る人へ」の意識醸成を目的に、全世代、外国人や障がいのある人などあらゆる人をターゲットに、多様な機関と連携し、逃げ遅れゼロに向けて、VR・AIなどのコンテンツを制作・活用した取り組みを推進しています。

この度、点字版の防災啓発冊子発行やゲームソフト、チャットGPTによるAI語り部システムなど、独自のコンテンツによる無償活動を自治体や公共組織、学校等と連携して広く実施しており、今後の展開にも非常に期待が持てると評価していただきました。

今後も、災害伝承など防災意識向上のため、新技術・DXを活用した取り組みを推進し、大雨から誰一人取り残さないよう、多くの人へ伝わる防災啓発を展開していきたいと考えています。

※「防災・減災×サステナブル大賞」は、一般社団法人減災サステナブル技術協会が新たに確立した評価手法を以て、防災・減災におけるレジリエンス性ならびにサステナブル性、およびSDGsへの寄与度の側面から活動および成果、その貢献度と普及度の実状および期待度を『スマーテスアワード』と称し、評価し授与するものです。

